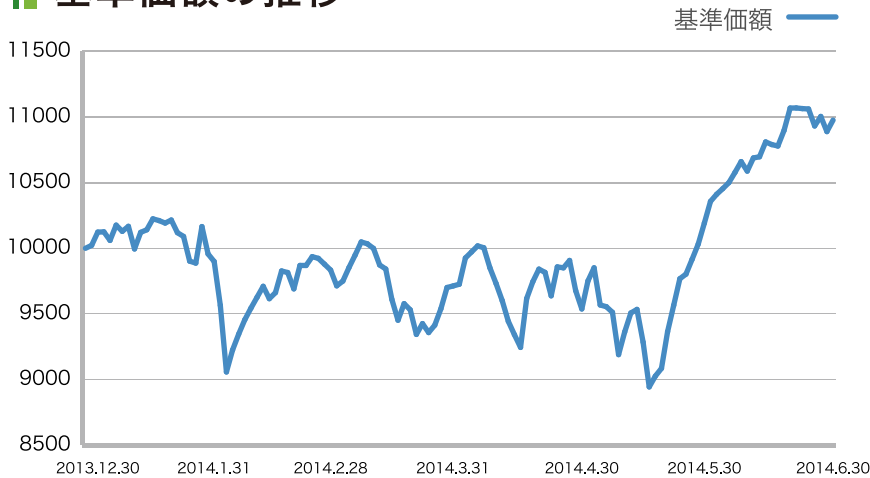




基準日 2014年6月30日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	10,976円
純資産総額	852百万円
受益権総口数	776百万口
顧客数	647人

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	85.0%	▲3.5%
現金等	15.0%	+3.5%
構成銘柄	50社	±0社

分配金

初回決算未到来のため、分配金の実績はございません。
なお、初回決算は2014年12月18日の予定です。

基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	年初来	設定来
7.69%	13.00%	8.43%		8.43%	9.76%

運用の特色

①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

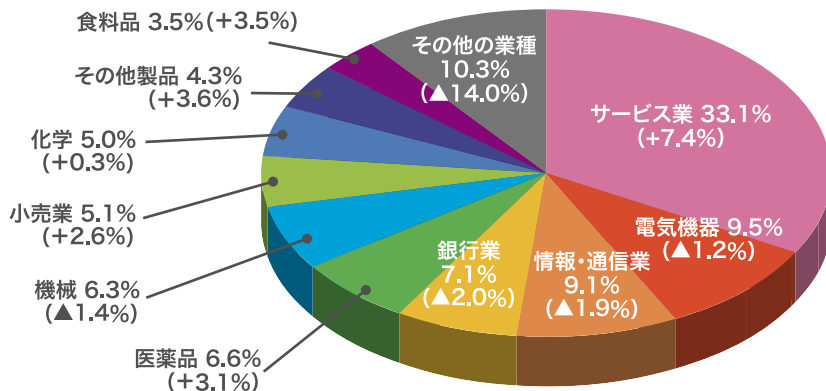
③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどにに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

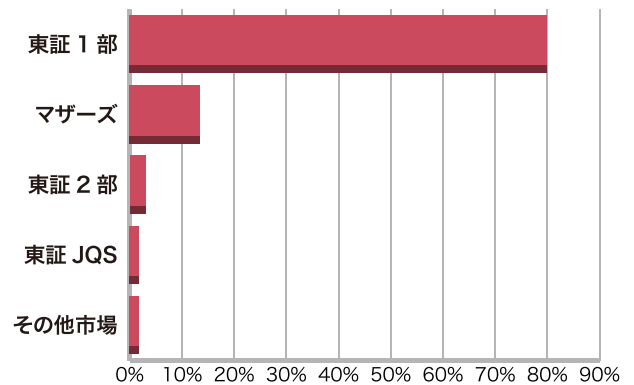
※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

基準日 2014年6月30日付

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比



- 比率は組入有効証券の時価総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

組入上位5社

(2014年5月31日現在)

企業名	市場	業種	比率
CYBERDYNE	マザーズ	精密機器	5.0%
三井住友フィナンシャルグループ	東証1部	銀行業	4.6%
富士フィルム	東証1部	化学	4.2%
三菱重工業	東証1部	機械	3.8%
ALSOK	東証1部	サービス業	3.7%

- 組入上位5社については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

組入上位5社の紹介

(2014年5月31日現在)

企業名[コード]	概要
CYBERDYNE [7779]	ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。
三井住友フィナンシャルグループ [8316]	3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
富士フィルム [4901]	主力事業だった写真フィルムの市場が急速に縮小するといった事業環境の激変を乗り越え、現在は「ヘルスケア」、「高機能材料」、「ドキュメント」、などの分野に事業構造を転換。創業からのフロンティア精神が受け継がれる。
三菱重工業 [7011]	世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
ALSOK [2331]	機械警備を中心に、常駐警備、警備輸送などのセキュリティ事業を展開。全国展開する2社のうちの一角。金融機関向けに強みを持つ。ホームセキュリティは、日本では世帯普及率が数%と米国の2割強に対して小さく、今後大幅な増加が期待できる分野。

- 組入上位5社については、開示基準日がその他の情報と異なります。

市場概況と運用状況

市場環境

6月の日本株は、5月に引き続き上昇して推移しました。消費増税の影響が和らいだことや、政府の新成長戦略への期待、NYダウの最高値更新などにより、23日までは大きく上昇しました。月末にかけては、相場の過熱感による売りや、イラク情勢の混迷などにより反落して月を終えました。日経平均は月間+3.62%の上昇、TOPIXは月間+5.09%の上昇となりました。

月初は、消費増税に伴う消費の落ち込みが想定内だったことや、中国政府発表の製造業購買担当者景気指数(PMI指数)の改善、NYダウの最高値更新などを好感して上昇基調となり、9日の日経平均は15200円をつけました。その後、イラク情勢の緊迫化に伴う米株安や、円高の進行により大きく下落し、13日寄付の日経平均は15000円を割り込みました。しかし13日午後には政府の新成長戦略の骨格が固まったことが伝わると相場は大きく反発し、16-17日に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)で市場予想並みの金融緩和縮小が決定されたことなどがさらに相場を押し上げ、23日の日経平均は月次高値となる15442円を付けました。月末にかけては、相場の過熱感による売りや、イラク情勢の混迷、米個人消費支出が市場予想を下回ったことなどにより、反落する展開となりました。

指数別で見ると、東証マザーズ指数(+16.02%)や日経JASDAQ平均(+7.33%)、JASDAQ指数(+6.58%)、東証2部(+6.47%)はTOPIXを上回る大幅な上昇となりました。TOPIX規模別で見ると、スモール(+7.02%)が最も上昇し、次いでミッド400(+5.66%)、ラージ70(+4.68%)、コア30(+4.43%)の順になっています。業種別株価指数の騰落率上位3位は、鉄鋼、その他金融業、証券業。同下位3位は、パルプ・紙、ゴム製品、海運業でした。なお、33業種のうち31業種が上昇しています。

投資行動とパフォーマンス

(組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります)

◎6月のポートフォリオ構成比率

6月末の株式等組入比率は85.0%と前月末に引き続き、高位を維持しました。残り15%程度はキャッシュを持っています。

◎6月の投資行動

6月は、資金流入に伴う株式の買付をしつつ、機動的に株式等組入比率を変化させました。具体的には、軍事的な緊張状態にあるロシア・ウクライナ情勢や、米国の金融政策を左右する雇用統計の発表を直前に控えていたことなどから、株価下落リスクを回避するため、月初から90%前後を維持していた株式等組入比率を6日と9日(日経平均15200円前後)に70%台前半まで引き下げました。その後、イラク情勢の緊迫化などによる米国株安や円高進行を受け株価が下落しましたが、下落は一時的なものと判断し、10日から12日(同14900~14800円台)にかけて同比率を90%台まで再度引き上げました。株価反発後の20日(同15400円台)はウエイトを若干調整しています。

◎6月の組入銘柄の内訳(構成比率は組入有価証券を100%として計算)

6月末の組入銘柄は、前月末と同じ50銘柄となりました。業種別構成比率トップ3は、サービス業33.1%、電気機器9.5%、情報・通信業9.1%の順です。市場別構成比率トップ3は、東証1部79.9%、マザーズ13.5%、東証2部3.0%です。

◎組入上位5社(1ヶ月遅れの開示のため5月末現在)

5月末に新規にトップ5入りした銘柄は、「三井住友フィナンシャルグループ」、「富士フィルム」、「三菱重工業」の3銘柄です。圏外になった銘柄は、「ペプチドリーム」、「ジャパンディスプレイ」、「日本アコモデーションファンド投資法人」の3銘柄です。

◎6月のファンド月間リターン

6月末の基準価額は10976円(5月末10192円)。ファンドの月間リターンは7.69%の上昇となりました。参考指標として、同月のTOPIXは5.09%の上昇、日経平均は3.62%の上昇となっています。また、ファンドの年初来(6か月)リターンは8.43%の上昇となりました。参考指標として、年初来のTOPIXは▲3.05%の下落、日経平均は▲6.93%の下落となっています。

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
6月2日	日経CNBC	日経ヴェリターストックに渋澤がコメンテーターとして出演しました。
6月2日	日本経済新聞電子版	「渋沢栄一の思いが示す地域金融再編の必要性」というタイトルで、渋澤のコラムが掲載されました。
6月10日	日本経済新聞朝刊(7面)	コモンズ投信などがまとめた個人投資家が資産を形成しやすい環境づくりへ向けた提言についての記事が掲載されました。
6月11日	テレビ東京	コモンズ投信などがまとめた個人投資家が資産を形成しやすい環境づくりへ向けた提言が報道されました。(動画をご覧ください。)
6月12日	日本証券新聞(4面)	コモンズ30塾アフリカセミナーの様子が掲載されました。

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
ザ・2020ビジョン 運用報告セミナー	7月9日(水)	19:00~20:30	東京都渋谷区(渋谷駅西口駅前)
	7月13日(日)	10:00~11:30	愛知県名古屋市(栄エリア)
	7月13日(日)	15:00~16:30	大阪府大阪市(梅田エリア)
はじめてのコモンズ	7月13日(日)	13:00~15:00	東京都千代田区 (コモンズ・オフィス)
	7月23日(水)	14:00~16:00	
	8月4日(月)	14:00~16:00	
くつろぎBAR	7月16日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区 (コモンズ・オフィス)
	8月20日(水)	18:00~20:00	
「GE 世界基準の仕事術」から学ぶ グロースバリュー	7月23日(水)	19:00~21:00	東京都千代田区 (新丸の内ビルディング)
草食投資隊のタベ2014 ~草食なのにバーベキュー!!~	8月6日(水)	19:00~21:00	東京都新宿区 (明治神宮外苑)
第6回コモンズ社会起業家フォーラム (フォーラムの部)	10月4日(土)	14:30~17:00	東京都千代田区 (日比谷図書文化館内)
第6回コモンズ社会起業家フォーラム (懇親会の部)		17:00~18:45	

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターからお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

お知らせ

「ザ・2020ビジョン 先着プレゼントキャンペーン」

キャンペーン期間中にザ・2020ビジョンを20万円以上スポット購入いただいた方に、同ファンドを2000円分プレゼントいたします。キャンペーンの詳細は弊社ウェブサイトまたはコールセンターにてご確認ください。

<http://www.common30.jp/fund2020/campaign/> 03-3221-8730(コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■ コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■ メール

commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階